伊倉小学校

学校だより

R6. 4. 10 第1号 文責 坂本·

0 「自分を大切に、 を頑張ること

「あいさつが響く学校にすること」を頑

張

っそく、

八日

月)

から登校班で登校し

ま 0

さ

姉弟の二人が本校に転入してくれました。

前期始業式で子ども達にお願いしたこと

新

お友

兀 l

月、

県南の小学校から六年生と四

お友達を大切にすること」

O ること

三十 人で斬しい扉を用けま 1 た

百

思いを込めて始業式では、 どもたちにしました。 年になることを期待してい いろなことを経験し、 るかのようでした。 0 ス 0 カコ です。 節目は、 せ新年度のスタートをお祝い 今年は、 年間、 人ひとりが、新し 春休 学習や体験活動、 自分自身を更に成長させるチャン み中には桜がきれいな花を咲 入学や進級とい 更に大きく成長する一 います。 次のような話を子 遊びなど、 い扉を開け、 してくれてい この った学年 ような いろ

在籍児童数			
学年等	男子	女子	合計
1年生	7	1 2	1 9
2年生	1 0	1 1	2 1
3年生	1 0	1 3	2 3
4年生	9	1 1	2 0
5年生	1 4	1 4	2 8
6年生	9	1 1	2 0
合 計	5 9	7 2	1 3 1

伊倉小学校 校章

## 本校 の 光 生 す 0 本 绍 介 博

ください。みなさんよろしくお願いします。

た。伊倉小学校でも

いっぱ

いお友達を作

7

校長

 $\bigcirc$ 

中

カン

(本校三年

年

教務、 頭 主

担

二年 担

> (本校二 (本校二 (本校五.

年 年

目 目 目

〇〇小から

三年 担

任任任

四年 担

五.年. 担

(本校四.

目

本校五年

自

年

目

 $\bigcirc$ 

Ō

小

から 年

六年担 任

ひまわり

たんぽ。 児童支援

養護

もは地域の宝」ということを実感し、

子ども達を預かる我々教職

員

0

責任の重さを痛感しました。

子どもは集団の中でさまざまな課題と出会いながら、

社会性を育んでいきます。学校は家庭と連

連携し、

地域の皆様 少し

いま協

ずつ自

立

と同時に、

ĺ

大きめ

多数のご来賓の皆様にご参列していただき、まさに「子どめの制服に身を包んだかわいい一年生を微笑ましく感じる

几 小

月九日

(火 お め

に十九人の新入生を迎

え、

入学式を行い

ました。

学

て

とう

特別支援 育支援員

支援員 教員 業

-ジ上では教職員の氏名等は省略いたします。

小から )小から)

(本校二  $\bigcirc$  $\bigcirc$ (本校二

年

目

(本校九年 本校十年

目 目

(本校四 (本校六年目 年 目

本校三年目

英語指

図書:

補

助

致団 結 Ļ います。 認め、ほめ、 励ま



伸ばす」 教職員が一 教育実践を行

〇お友だちと「なかよし」になること

○気持ちのよ

い元気なあいさつをすること

どうぞよろしくお願いいたします。

人学式で一年生にお願い

したこと

いただきながら、

子どもたちを健やかに育てて

いきたいと思

〇自分のことは自分でできるようになること